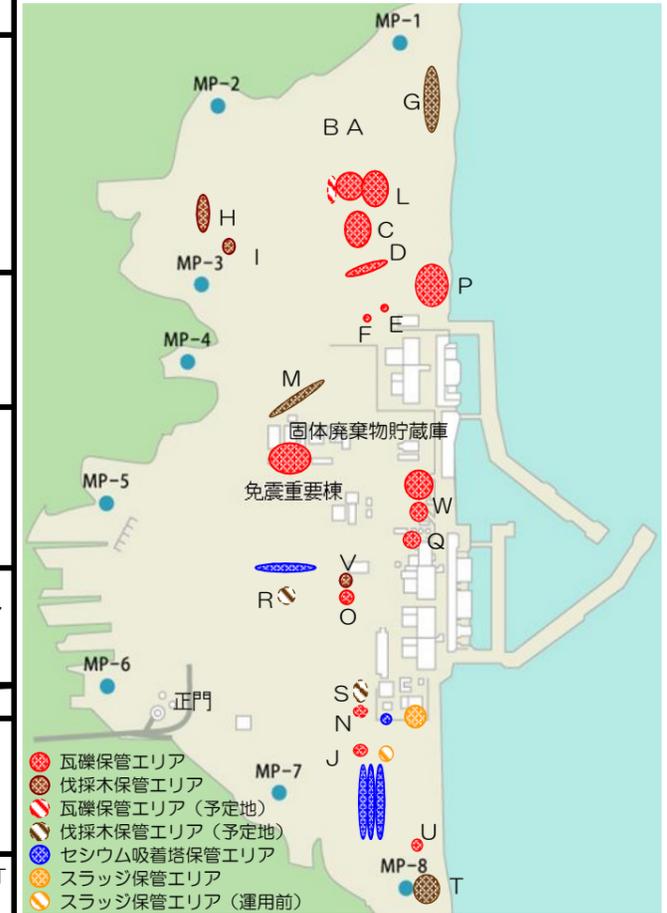


放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月		5月					6月		7月		8月	備考		
				26	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下		前	後
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・発電所構内における資機材等の貸出運用体制の整備	検討・設計	発電所構内における資機材等の貸出運用体制の整備													
			(予定) ・発電所構内における資機材等の貸出運用体制の整備 ・貸出運用方法の検討		貸出運用方法の検討													
	ドラム缶保管施設の設置	ドラム缶保管施設の設置	(実績) ・実施計画変更認可申請対応 ・準備工事(試掘、鋤取り)	検討・設計	実施計画変更認可申請対応													<ul style="list-style-type: none"> ・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解【規制庁関連】 ・2014年8月13日：実施計画変更認可申請
			(予定) ・実施計画変更認可申請対応 ・準備工事(試掘、鋤取り) ・本体工事(土工事)		5月下旬→6月上旬に延長													
			準備工事(試掘、鋤取り)															
	雑固体廃棄物の減容検討	雑固体廃棄物の減容検討	(実績) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 配管据付工事、機器単体試験 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事 屋根鉄骨設置工事	検討・設計	雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事													<ul style="list-style-type: none"> 雑固体廃棄物焼却設備：2015年度10月稼働予定 ・建屋工事(～2015年6月) ・機電工事(～2015年6月) ・試運転期間(2015年7月～2015年10月) 【主要工事工程】 ・基礎工事完了：2013年10月5日 ・上部躯体工事：2013年8月24日～ ・1階PC柱・梁取付完了：2013年12月12日 ・2階PC柱・梁取付完了：2013年4月7日 ・使用前検査(焼却炉建屋、雑固体廃棄物焼却設備) 2014年2月18日～
			(予定) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 配管据付工事、機器単体試験 ユーティリティ設備、換気空調設備、焼却設備系統試験 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事 屋根鉄骨設置工事、外構工事		配管据付工事、機器単体試験													
			ユーティリティ設備、換気空調設備、焼却設備系統試験															
			雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事															
	2. 保管適正化の推進	覆土式一時保管施設3,4槽の設置	(実績) ・設置工事(3槽)	検討・設計	削除：覆土式一時保管施設3,4槽の設置に向けた準備 具体的な準備作業の着手に合わせて、線を追加する。													<ul style="list-style-type: none"> ・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解
(予定) ・設置工事(3槽) ・ガレキ受入(3槽)			設置工事(3槽)															
地下水観測孔設置(2孔)																		
一時保管エリアの追設/拡張	一時保管エリアの追設/拡張	(実績) ・伐採木一時保管槽の追設(エリアG)	検討・設計	削除：一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備 具体的な準備作業の着手に合わせて、線を追加する。													完了：2015年10月30日	
		(予定) ・伐採木一時保管槽の追設(エリアG)		伐採木一時保管槽の追設(エリアG)														

ガレキ・伐採木の管理状況(2015.4.30時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量 ^{※1}	前回報告比 ^{※2} (2015.3.31)	変動 ^{※3} 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
屋外集積 (0.1mSv/h以下)	C	屋外集積	0.01未満	55,200 m ³	-400 m ³	①③④⑤	97%	99900 / 168100 (59%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、工事で発生した廃材。 エリアP1造成完了、運用準備開始(2014年10月24日) 瓦礫受入開始(2015年1月19日) エリアN瓦礫受入開始(2015年4月16日) 	
	F	屋外集積	0.01	4,100 m ³	0 m ³	—	55%			
	J	屋外集積	0.02	4,700 m ³	0 m ³	—	98%			
	N	屋外集積	0.01	200 m ³	+200 m ³	—	2%			
	O	屋外集積	0.02	26,200 m ³	0 m ³	—	95%			
	P	屋外集積	0.01未満	8,800 m ³	+2,200 m ³	①	14%			
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100%			
ガレキ シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	28300 / 48300 (59%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、工事で発生した廃材、建屋内に設置していた撤去機器、水処理で使用したホース類及び廃車両。 今後発生量の増加が見込まれるため、廃棄物発生量の抑制や既保管物の減容処理を進めていく。 エリアP2造成完了、運用準備開始(2016年10月24日) 	
	E	シート養生	0.03	4,700 m ³	+300 m ³	①	29%			
	P	シート養生	0.01未満	0 m ³	0 m ³	—	0%			
	W	シート養生	0.03	21,000 m ³	0 m ³	—	72%			
覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	8,000 m ³	0 m ³	—	100%	17600 / 23700 (74%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去されたガレキ。 1号機ガレキ撤去に向けて、覆土式一時保管施設3,4槽設置(8,000m³)の安全協定に基づく事前了解(2014年8月12日)。 エリアE2造成完了、運用準備開始(2014年10月24日) 保管容器^{※4}受入開始(2014年12月9日) 覆土式一時保管施設3槽設置工事開始(2014年11月10日) 	
	A	仮設保管設備	0.30	3,300 m ³	微増	—	47%			
	E	容器	0.01未満	100未満	微増	—	2%			
	F	容器	0.01	600 m ³	0 m ³	—	99%			
固体廃棄物貯蔵庫	Q	容器	0.12	5,700 m ³	0 m ³	—	93%	5500 / 12000 (46%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去された高線量ガレキ。 第9棟設置(ドラム缶 約11万本)に向けて安全協定に基づく事前了解(2014年8月12日)。 第9棟設置に伴う実施計画変更認可申請(2014年8月13日) 	
	固体廃棄物貯蔵庫	容器	0.03	5,500 m ³	+100 m ³	②	46%			
	合計(ガレキ)			151,500 m ³	+2,400 m ³	—	60%			
	伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01	12,900 m ³	-1,700 m ³	③			73%
I		屋外集積	0.01	10,500 m ³	0 m ³	—	100%			
M		屋外集積	0.01	37,800 m ³	-300 m ³	③	84%			
V		屋外集積	-	0 m ³	0 m ³	—	0%			
一時保管槽 (枝・葉)		G	伐採木一時保管槽	0.01未満	7,300 m ³	0 m ³	—	27%	17400 / 50100 (35%)	<ul style="list-style-type: none"> 当面受入を計画していた枝葉については、チップ化した後、エリアTの伐採木一時保管槽へ受入完了。
	T	伐採木一時保管槽	0.01	10,100 m ³	0 m ³	—	44%			
合計(伐採木)			78,600 m ³	-1,900 m ³	—	57%				



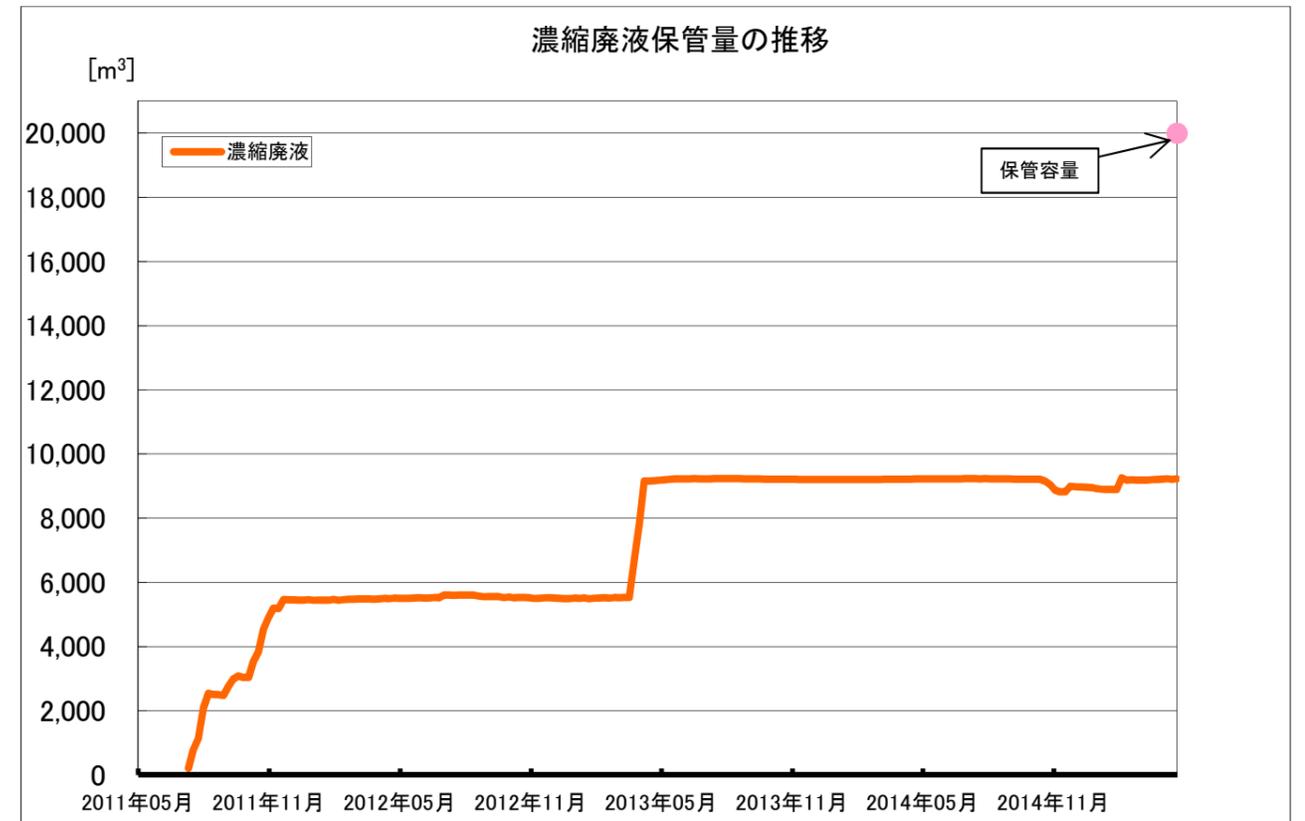
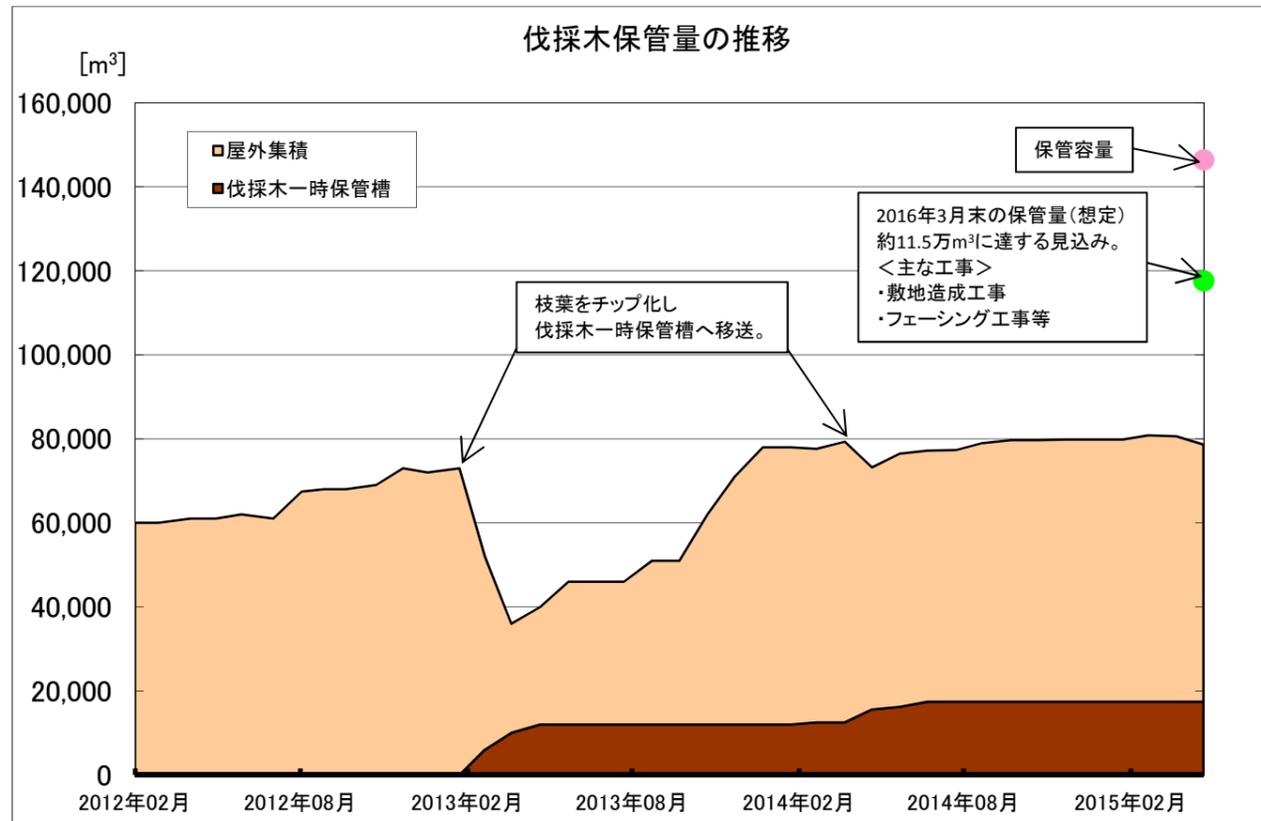
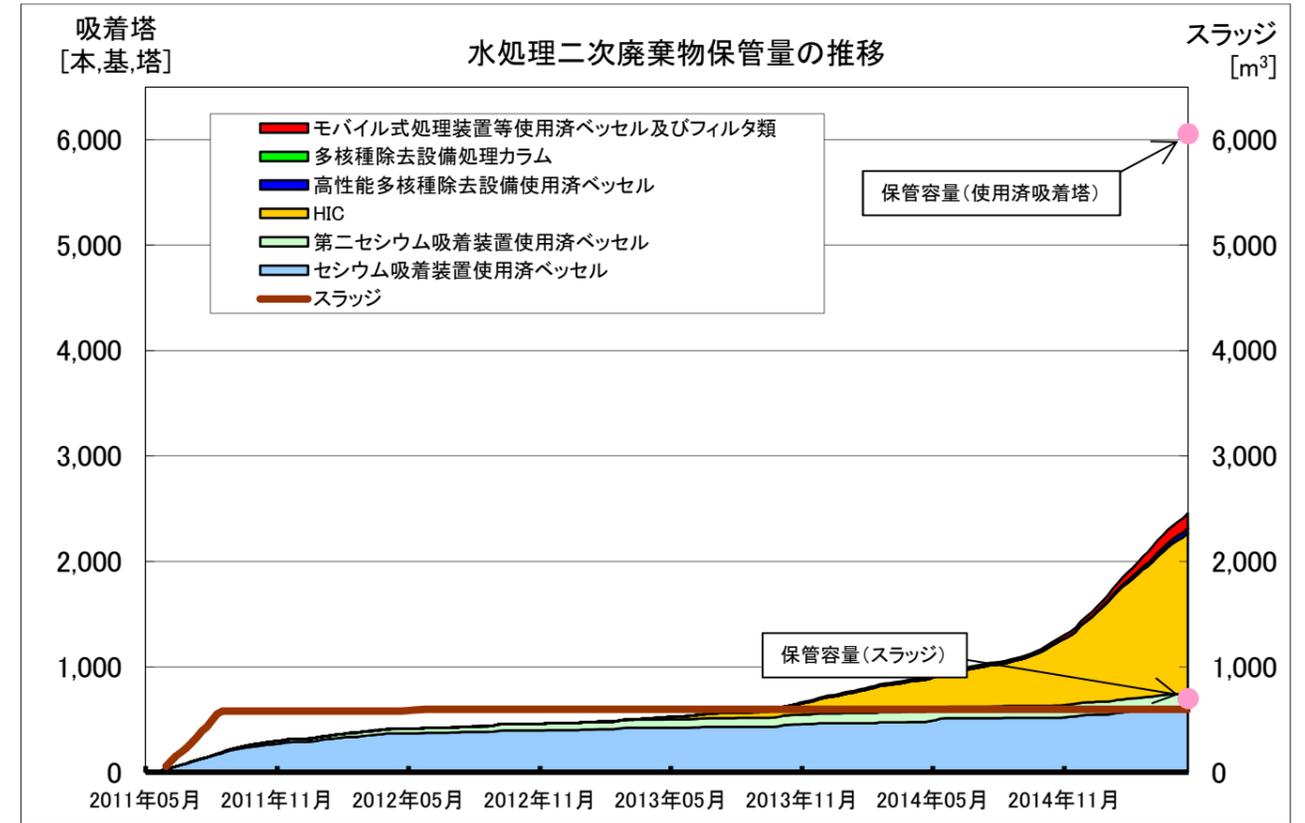
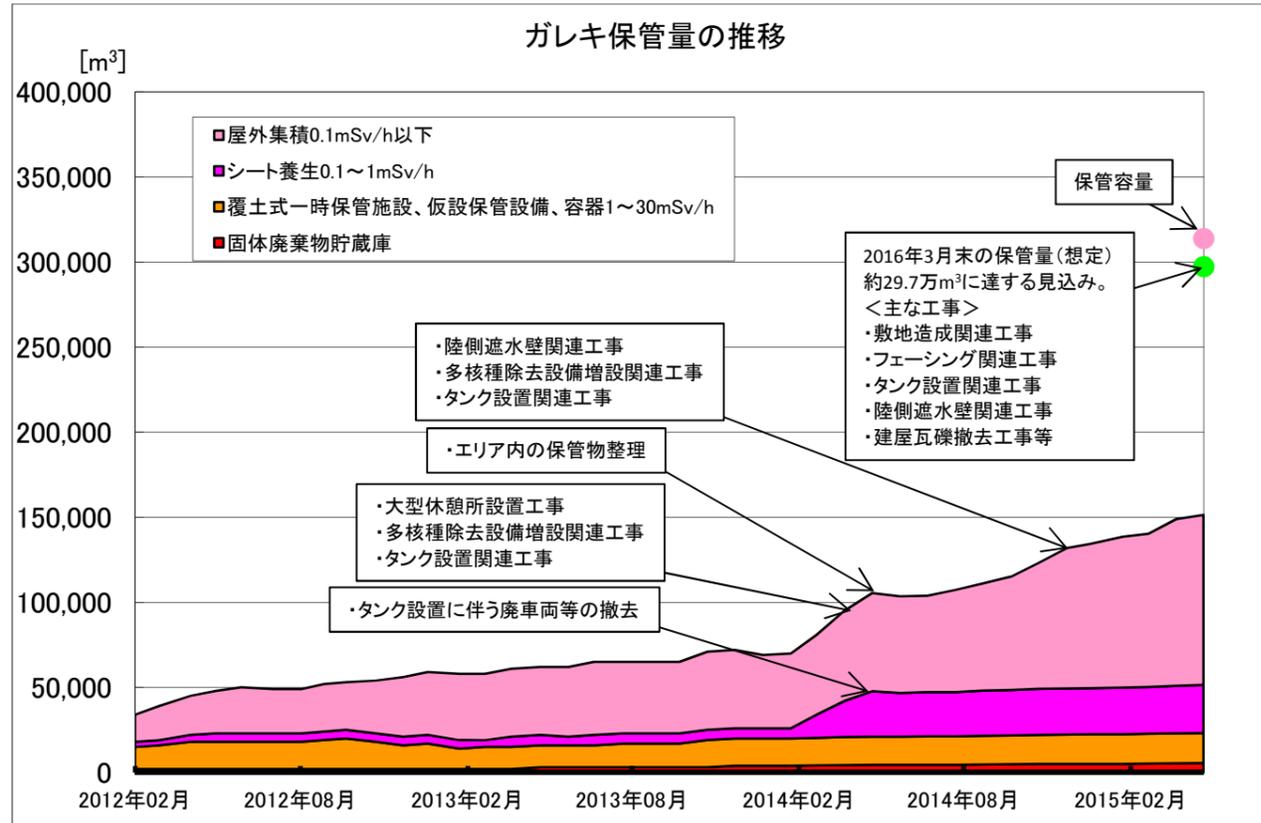
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由：①フェーシング関連工事 ②1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③エリア整理 ④タンク設置関連工事 ⑤固体廃棄物貯蔵庫9棟設置工事 等
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2015.5.21時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2015.4.23)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	618 本	+4 本	2456 / 6055 (41%)	<ul style="list-style-type: none"> 多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設(第三施設)全容量(容量3,456本)の使用前検査終了(2015年4月13日, 1,536本増) 使用済吸着塔一時保管施設(第一施設)の吸着塔保管ラック復旧(50本増) 	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	130 本	+6 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	979 基			+54 基
			増設	538 基			+69 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	46 本			+8 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	3 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		142 本	+16 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,226 m ³	+23 m ³	9226 / 20000 (46%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) 	



ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液の保管量推移



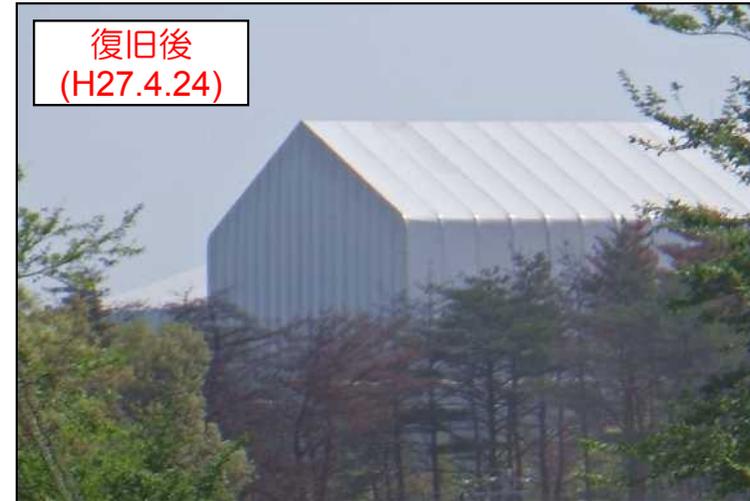
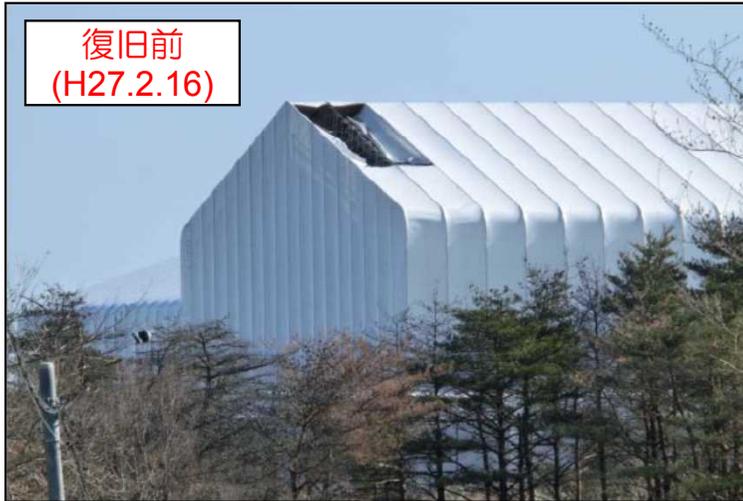
Aテントの一部破損について (作業状況と破損原因の報告)

2015年5月28日

東京電力株式会社

Aテント作業状況について

■作業状況



■実施内容

- ・ Aテント破損シート撤去・復旧
- ・ Aテントガイド止め点検

■今後の予定作業

- ・ Aテントシャッター修理
- ・ Bテントガイド止め点検



Aテント破損原因について

■破損原因

シートガイドを固定しているガイド止めのネジが緩み、脱落したことから、シートのあおりが大きくなり破損したと思われる。

